

2022年11月23日

柴本 和夫

① 大臣の辞任の連鎖（自民党は、辞任党に改名？）

- ・山際「再生」大臣は、コロナ担当で「再生」（泣いた山際がもう笑う）
- ・葉梨大臣の場合は、落語家に弟子入りして、噺（葉梨）家として「再生」
- ・「内緒の話」は、あのねのね～「法相（ホウショウ）の葉梨」も、あのねのね
- ・「ハンコ押す地味な仕事」～「反抗する自民な仕事」と聞こえる

② 食品の注文

- ・タンメンとは、牛タンがトッピングの麺かと思って注文した
- ・「死中に活」を入れると言われて、素直に、「シチュウにカツ」を入れた。

③ 古稀を過ぎ。加齢が気になる

- ・華麗なる人生の望みを捨てて、加齢なる人生を歩む
- ・麻丘めぐみ(1955年産まれの67歳)は、「私の彼は左利き」と歌った
- ・古稀に到達(1952年産まれ)は、「私の加齢はお墨付き」と歌う。

④ 空耳アワー

- ・オーディション番組で「あなたに適役ですよ」と言われて喜んだ。  
でも、それは「あなたは敵役ですよ」だと解り落胆した、
- ・電話のモシモシは、韓国語では「ヨボセヨ」  
梨泰院の自己の時節柄、圧死の「予防せよ」と聞こえる  
梨泰院事故の韓国当局の弁明は、圧死には関わりねーことでござんす。
- ・美空ひばりは「愛 燦燦（さんさん）」とこの身に降ってと歌った  
喧嘩別れした男女の場合は、「愛 散々（さんざん）」と歌う
- ・北信濃の秘湯「仙仁（せに）温泉」の友人から仏語のメールが届く  
秘湯仙仁（セニ）温泉にオります ⇒ セニ・オールです

⑤ ダジャレ系

- ・「紅葉」をみると元気になれる～気分が「高揚」するから
- ・政治の「集大成」～「習体制」は独裁で「終身「体制」の道筋
- ・公文式学習は難しくて苦悩。～公文イクモンは、苦悶イクモンだった。
- ・資源不足で古紙が高い～古紙泥棒が狙っています、虎視（古紙）眈々と

今年もボジョレーがやって来ました。飲んで定番の一言

君はまだ若い。芳醇で、フルボデイの熟女の魅力に負けるってね

今年もボジョレーを飲んで若さを祝う。若さがあれば人生はなんとかなるさ  
おいおいに笑おう～ジョークサロンで